

ナノ・スピン工学研究会

主査 大野 英男, 幹事 大野 裕三

21世紀に求められる高度な情報通信の実現には、ナノテクノロジーに基づく材料デバイス技術からシステム構築までの総合科学が必要である。「ナノ・スピン実験施設」は、この情報通信を支える総合科学技術の中の、ナノテクノロジーに基づいた電子の電荷・スピンを駆使する基盤的材料デバイス技術の研究を総合的・集中的に推進することを目的に、本研究所附属研究施設として平成16年4月1日に設置された。本研究会は、この施設を中心に展開して得られた成果にもとづき、広くナノエレクトロニクス・スピントロニクスに関連した科学技術に関して十分論議することを目的としている。平成20年度は以下の講演会を実施した。

第31回 平成20年6月12日

「Physics with technologically interesting magnetic materials & nanostructures」

Professor Indrani Das (Saha Institute of Nuclear Physics, Experimental Condensed Matter Physics Division, India)

第32回 平成20年12月4日

「Electrical control carrier mediated magnetism in (Ga,Mn)As」

Dr. M. Sawicki (Laboratory for Nanoelectronics and Spintronics, RIEC, Tohoku University, Sendai, Japan(電気通信研究所客員教授) Institute of Physics, Polish Academy of Sciences, Warszawa, Poland)

第33回 平成20年12月16日

「Room temperature magnetic coupling in GaMnN and GaGdN epitaxial layers and heterostructures」

Professor Angela Rizzi IV. Physikalisches Institut, University of Goettingen, Germany (presently at:) Research Center on Integrated Quantum Electronics, Hokkaido University

第34回 平成21年2月4日

「磁気異方性と電子状態」「結晶磁気異方性の電界効果の第一原理計算」

小田竜樹准教授(金沢大学)

第35回 平成21年3月9日

「低分子系有機薄膜太陽電池」

平本 昌宏 (自然科学研究機構分子科学研究所・教授)